

南山大学の「ここ」を未来に届ける
職員座談会 Vol.1

YaMazat66

南山大学をはなす

南山大学の「ここ」を未来に届ける

プラットフォームに風通しのいいアカデミア

YaMazat66

南山大学をはなす
教員座談会 Vol.1

YaMazat66

南山大学の「ここ」を未来に届ける

YaMazat66

南山大学をはなす

学生座談会

復刻

第2食堂のさきみフライ定食

2026年11月(予定)

YaMazat66

南山大学をはなす

南山大学の「ここ」を未来に届ける

職員座談会 Vol.2

Beautiful Campus, Nanzan Mind

知が行き交う 学び舎の丘

YaMazat66

南山大学をはなす

教員座談会 Vol.3

YaMazat66

南山大学の「ここ」を未来に届ける

コンフォートゾーンを出てみる

YaMazat66

南山大学をはなす

教員座談会 Vol.3

YaMazat66

南山大学を測る生産性 (GPA)の決定要因

変数	標準化係数	女性のほうが高い
実務スキル	0.27***	○
経済状況満足度	0.08	○
健康満足度	0.05	○
友人・知人との関係性	0.06	○
学業に対する自信	0.07	○
学業満足度	-0.1*	○
学業成績	0.23***	○

性別と学業が最も高い相関性がある

性別別にコンフォートゾーンを高められるか

上南戦 応援団

リーダーインタビュー

南山大学の「ここ」を未来に届ける

研究に、人生に、ストーリーがある

YaMazat66

南山大学をはなす

教員座談会 Vol.2

YaMazat66



YAMAZATO60

Nanzan University YAMAZATO CAMPUS Since 1964

今回の特集では、大学の魅力を学内外に発信した企画をご紹介します。

テーマ『南山大学をはかる』

南山大学の「ここ」を学問する企画

大学の「見える」をはかる

「見える」をはかるとは?と戸惑われた方もいるかもしれません。この企画では、自然地理学の視点から、「見える」をはかる試みがなされました。大学は計算上どこから見えるのか。本当に「見える」のか。1限にはどこからなら間に合うのか。など、こうしたことを「はかる」ことで、大学をあらためて「見る」こと、いざというときの備えを考えることへとつなげています。何気なく見ている景色や、当たり前になっていることでも、注意深く観察し、はかることで新たな気付きに繋がる可能性があります。

総合政策学部
大八木 英夫 教授



大学の「しあわせ」をはかる

しばしば耳にするウェルビーイング(Well-being)。文字通り「良い状態(Well)」で「存在する(Being)」ことを意味します。この企画では、近年のウェルビーイングに関する先行研究の知見をもとに、南山大生が「しあわせ」かどうかを様々な角度から検証しています。どのように「しあわせ」をはかるのでしょうか?南山大生は果たして「しあわせ」なのでしょう?学生のみなさんが進路を考えたり、社会にでてから施策に関わったりする際のヒントが見つかるかもしれません。

総合政策学部
鶴見 哲也 教授



大学の面積を測る

東京ドームは約4.7万㎡、バンテリンドームナゴヤ(ナゴヤドーム)は約4.8万㎡。では南山大学の広さはドーム何個分?ネット検索する、公的な資料をあたるなど、答えを得る手段はいくつもありますが、それらが示す値はさまざま。しかもどこからどこまでの広さを示しているのか、よくわかりません。知りたいことは自分で明らかにする。自分の頭でしらべる方法を考え、自分の手足を動かして答えを求めるのです。今回も日頃の研究と同じく、公表されているデータと実地測量でチャレンジしました。南山大学の広さは一。

人文学部
上峯 篤史 教授



この企画の詳細はこちら→

<https://www.nanzan-u.ac.jp/yamazato60/hakaru/>



テーマ『南山大学をあるく』

南山大学の「ここ」を散策する企画

- ・卒業生があるく学食ぶらり旅
- ・『南山大学をたべる』突撃!南山のお昼ごはん(リアンカフェ編)
- ・『南山大学をたべる』突撃!南山のお昼ごはん(第3食堂編)
- ・『南山大学をたべる』突撃!南山のお昼ごはん(咖喱日和編)
- ・『南山大学をたべる』突撃!南山のお昼ごはん(SWEETS MAGIC Lab.編)
- ・第2食堂のささみフライ定食を復刻させたい!



テーマ『南山大学をはなす』

南山大学の「ここ」を未来に届ける企画

- ・教員座談会
- ・学生座談会
- ・職員座談会



YAMAZATO60+とは??

2024年度に南山大学の山里町移転60周年を記念して実施した「YAMAZATO60」を前身とするプロジェクトです。「YAMAZATO60+」としてリニューアルし、南山大学の「これまで」と「これから」を考え、「ここ」を知るために「あるく」「はかる」「はなす」をテーマに様々な企画を実施しています。

詳細はこちら→



NANZAN 社会連携 Meet Up

「NANZAN 社会連携 Meet Up」は、南山大学の教員が持つ「アカデミックな知見」を公開し、地域社会や企業との交流を通じて、新たな発見や未来のコラボレーションを生み出すことを主要な目的として、STATION Aiにおいて、2025年度に全4回を実施しました。毎回、CBCテレビ特別解説委員の石塚元章氏をファシリテーターとしてお迎えし、「難しい話題を楽しくわかりやすく」参加者で共有する企画となりました。



イベント企画

2025.5.1掲載 | 『南山大学をあそぶ』ゲームフォト 街と和解する方法

2025.6.1掲載 | 南山大学3研究所合同企画「人と自然のふさわしい装い(尊厳)を求めて-南山レーモンド建築の過去・現在・未来」(開催報告)

2025.6.23掲載 | 上南戦を応援しよう! 応援団リーダー部インタビュー

2025.7.15掲載 | 「あなうめ」ラジオ 『南山大学を(オープンキャンパスで)あそぶ』

2025.10.15掲載 | 『南山大学をはなす』世界の声で南山を語る(開催報告)

2025.11.1掲載 | 「NANZAN FESTIVAL 2025」学生主体で創り上げる3日間 大学祭運営委員会委員長インタビュー

その他、南山ゆたかフェス実行委員会の学生のみなさんやライネルス中央図書館、人類学博物館担当者のインタビューなどの記事も公開しています。



高大連携 NANZAN SPORTS FESTIVAL

2月15日、3月14日、22日、24日、中部地区のカトリック高等学校を中心に招待し、Nanzan Sports Festivalを開催しました。カトリックの教育理念を共有する高等学校とより一層の連携を図るとともに、地域におけるスポーツの活性化を目指し、昨年に引き続き2回目の開催となりました。



2.15 サッカー・バレーボール男子

参加校 サッカー 南山高等学校男子部、海星高等学校、名古屋高等学校、光泉カトリック高等学校
バレーボール男子 海星高等学校



3.14 バasketボール男女

参加校 男子 海星高等学校、四日市メリノール学院高等学校、光泉カトリック高等学校、南山高等学校男子部
女子 光ヶ丘女子高等学校、四日市メリノール学院高等学校、海星高等学校、浜松聖星高等学校、百合学院高等学校

3.22 バレーボール女子

参加校 聖カピタニオ女子高等学校、セントヨゼフ女子学園高等学校、南山高等学校女子部、光ヶ丘女子高等学校、聖霊高等学校



3.24 ラクロス女子

参加校 参加校: 聖霊高等学校

参加者へのインタビュー記事はこちらから→



2026.1.12

日韓学生交流セミナー：グローバル起業とキャリア

1月12日、本学に釜山市の大学生32名と教職員6名が来学し、「グローバル起業を目指すセミナー」を開催しました。韓国の学生たちは本学学生の案内でキャンパスツアーに参加した後、「グローバル視点からの起業とキャリア」をテーマに、各自の起業内容を報告しました。その後、活発な議論が展開され、国際的な起業の可能性やキャリア形成について深い意見が交わされました。学外で行った交流会には両国の学生約70名が参加し、さまざまな文化や視点を交換しながら親睦を深めました。

交流セミナーに参加した学生たち▶



2026.3.19

2025年度学生部長表彰式

3月19日、2025年度学生部長表彰式を開催しました。学生部長表彰は、個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたときに授与されます。今年度は、個人19名と6団体に賞が授与されました。



▲吉田教学生部長より表彰状が授与されました

2026.3.19

2025年度学長表彰式

卒業予定者のうち品行方正で、学業あるいは課外活動で特に優れた成績をおさめた学生、または特に顕著な善行が在学中継続した学生31名に、その努力と栄誉を称え、学長から盾が授与されました。



▲キサラ学長より盾が授与されました

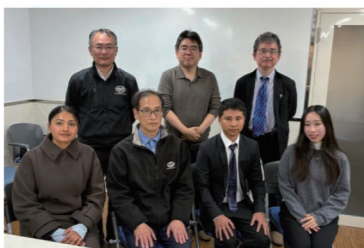
- | | | | |
|----------|----|----------|----|
| 【人文学部】 | 7名 | 【理工学部】 | 4名 |
| 【外国語学部】 | 6名 | 【国際教養学部】 | 2名 |
| 【経済学部】 | 3名 | | |
| 【経営学部】 | 3名 | | |
| 【法学部】 | 3名 | | |
| 【総合政策学部】 | 3名 | | |

2026.3.19

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」学修成果報告会を開催

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」は、株式会社極東精機様からのご支援を原資とし、国際教養学部で学ぶ東南アジアおよび南西アジア諸島いずれかの国の国籍を有する者に対し給付する奨学金です。

3月19日、奨学生に採用された留学生4名による学修成果報告会が株式会社極東精機本社で行われました。それぞれ自己紹介を交え、この1年で学んだことや日頃の学生生活、自分の研究テーマ等について報告しました。



▲前列左から GHIMIRE Swikriti、北野代表取締役社長 TAMANG Rabin、LEE Kasumi 後列左から 伊藤代表取締役副社長、神崎教授、安原教授

2026.3.20

2025年度卒業式

3月20日、2025年度卒業式を行い、2,221名(学部生2,135名、大学院生86名)の卒業生を送り出しました。カトリック総合大学である本学らしく、式典では「卒業感謝の祈り」として司祭による聖書朗読、各学部の代表学生による共同祈願などととも学位記授与式が行われ、会場は厳粛な雰囲気になりました。当日はインターネット(YouTube Live)で卒業式の模様を同時中継しました。



▲卒業式の様子

2026.3.6

「南山チャレンジプロジェクト」活動報告会

3月6日、2025年度南山チャレンジプロジェクト活動報告会を実施しました。「南山チャレンジプロジェクト」は学生による学内を活性化する企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。採択された2団体が、1年の活動を振り返り、実施した企画や、活動の中で生じた困難な状況をどのように乗り越え、何を学んだか等を発表しました。【採択団体】Nanzan AID、PE project



▲報告会で発表をする学生

2026.3.6

2026年度「南山チャレンジプロジェクト」採択式

3月6日、2026年度南山チャレンジプロジェクトの採択式を開催しました。採択された5団体は、掲げた取り組みについて1年を通じて活動を行います。【採択団体】がくそん、Nanzan AID、漕艇部、学生団体ECHO、UniVo



▲採択式で通知書を授与される学生

2026.3.31-4.3

フレッシュマン祭

3月31日から4月3日までの4日間、フレッシュマン祭を開催しました。新入生向けにクラブ・サークル紹介をするため、今年は93団体がキャンパス内でチラシの配布や勧誘活動、教室やフラッテンホール、体育館、グリーンエリア等でのイベントを実施しました。



▲メインストリートの様子

2026.4.1

2026年度入学式

4月1日、2026年度入学式を行い、2,349名(学部生2,262名、大学院生87名)の入学者を迎えました。ロバート・キサラ学長は告辞において、「これからの在学期間中、地球規模の関心を深め、自分独自の貢献、自分であるからこそできる貢献を見出してください。」とメッセージを贈りました。当日はインターネット(YouTube Live)で入学式の模様を同時中継しました。



▲入学式の様子

社会科学部経営学専攻の学生および経営学部の学生が、令和7年度公認会計士試験に合格

社会科学部経営学専攻の学生と、経営学部の学生が、令和7年度公認会計士試験に合格しました。公認会計士試験は、会計・監査・税務・経営など幅広い専門知識が求められる国家試験であり、極めて高い難易度を誇ります。本学での学びと試験勉強を両立しながら在学中の合格を果たしたおふたりの努力に、心から敬意を表します。

経営学部4年 荒川陽紀さん ▶



本学学生3名がネットボール男子日本代表としてアジアカップに出場

外国語学部英米学科3年野村武司さん、人文学部心理人間学科1年中敷成哉さん、経営学部経営学科1年大森文太さんが、ネットボール男子日本代表として、香港で開催されたネットボール男子アジアカップ2026に出場しました。今回は、日本のネットボール史上、男子日本代表が初めて国際大会に出場する歴史的な大会となり、本学の学生が日本代表として国際舞台に立つ貴重な機会となりました。大会は2026年2月5日から2月8日にかけて開催され、アジア地域から複数の国が参加しました。学生たちは日本代表選手として試合に臨むだけでなく、大会期間中を通して、他国の選手や関係者との交流も経験しました。

(左から)大森 文太さん、中敷 成哉さん、野村 武司さん ▶



「南山ソーシャルデータサイエンス・プログラム(通称:N-STEP)」を開始

2026年度より、全学部生を対象とした「南山ソーシャルデータサイエンス・プログラム(通称:N-STEP)」を開始しました。N-STEPは、デジタル社会である現代において基礎的な素養である「数理・データサイエンス・AI」知識の修得を目的としますが、単なる知識の修得にとどまらず、社会および南山大学の教育モットーである「人間の尊厳のために」の実現に生かすことのできる能力として役立たせることを目指すプログラムです。所属する学部・学科等の学び(主専攻)に加え、南山大学の特色を生かした学びの「更なる選択肢」として、2026年度からスタートする「副専攻制度」の1つとして設置され、所定の修了条件を満たした場合は、「オープンバッジ」による修了認定を行います。



詳細につきましては、以下の特設ページをご覧ください。
https://office.nanzan-u.ac.jp/KYOUUMU/course-class/n-step/



中高大連携に関する包括協定締結式を開催

3月16日に、長崎南山中学校・高等学校と、4月21日に静岡雙葉中学校・高等学校と、中高大連携に関する包括協定締結式を行いました。このたびの連携により、カトリックの教育理念のさらなる深化を図るべく、相互の教職員・学生・生徒の交流・連携を通じて、より魅力ある大学・中学高校づくりを推進することを目的とする中高大連携事業を実施します。宗教またはキリスト教に対する意識や学習意欲を高めることを目的とした教育的取り組みを展開していきます。



▲左:ロバート・キサラ学長 右:長崎南山中学校・高等学校 西 経一校長 ▲左:静岡雙葉中学校・高等学校 仁科明子校長 右:ロバート・キサラ学長

名誉教授が春の叙勲受章

令和8年春の叙勲において、安田文吉名誉教授が瑞宝中綬章を、櫻井健吾名誉教授が瑞宝小綬章を受章しました。安田文吉名誉教授は、1977年4月南山大学文学部国語学国文学科講師となった後、1980年4月助教授、1989年4月同教授となりました(2000年4月文学部国語学国文学科を人文学部日本文化学科に改組)。2014年4月南山大学名誉教授称号を授与。令和8年春の叙勲で、瑞宝中綬章を受章しました。櫻井健吾名誉教授は、1972年4月南山大学経済学部助手となった後、1975年10月同講師、1979年4月助教授、1990年4月同教授となりました。2011年10月南山大学名誉教授称号を授与。令和8年春の叙勲で、瑞宝小綬章を受章しました。



2026.3.25

駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館から、Mato Zeko大使が来学され、キサラ学長を表敬訪問されました。キサラ学長は来訪を歓迎し、両国の大学間連携について意見交換を行うとともに、学園内の高校生らも交えた両国の生徒同士の交流の可能性についても話し合いが行われました。

(左)ロバート・キサラ学長 (右)Mato Zeko大使 ▶



Special Events Schedule

2026.7.3-7.5

第67回上南戦

7月3日(金)から7月5日(日)の3日間にわたり、第67回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦を南山大学で開催予定です。今年のスローガンは「飛翔南山」です。「飛翔」には自分の限界を超えて、失敗を恐れず挑戦するという思いを込め、それぞれの競技で選手一人ひとりが躍動し、南山大学が一体となって勝利を手にしようという熱意があらわされています。

パンフレット表紙▶



2026.7.18-7.19

オープンキャンパス

今年のオープンキャンパスは、7月18日(土)、19日(日)を予定しています。大学概要紹介や各学部学科の説明会・模擬授業のほか、留学体験紹介、在学生トークライブなどの特別企画を実施。入試説明では2027年度一般選抜新制度について詳しくご説明します。詳細は入学センターWebサイト「受験生の皆様」でご確認ください。



入学センター

E-mail: nyushi-koho@nanzan-u.ac.jp
https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/opencampus/



2026.7.20

ゆかたフェス

7月20日(月)に、第10回南山ゆかたフェスを開催予定です。南山ゆかたフェスは、浴衣を着ることで日本文化に親しんでもらうことや、学内に交流の場を増やすことを目的とした参加型のイベントです。浴衣の販売や無料着付けだけでなく、縁日企画、プロカメラマンによる撮影等も予定しています。ぜひご参加ください。

7月12日(日)には、昨年に引き続き「南山ゆかたフェス×松坂屋コラボファッションショー」を開催予定です。学生によるアレンジした着付けをぜひ見に来てください。



▲昨年のゆかたフェスの様子

2026.10.3

教育研究懇談会(旧:保護者の集い)

10月3日(土)に、教育研究懇談会を開催します。学部生の保証人の皆様に対し、本学における教育・研究をはじめ、留学や就職支援に関する取り組みについてご説明する機会としています。※詳細は8月下旬に保証人様宛に送付する案内文書でご確認ください。

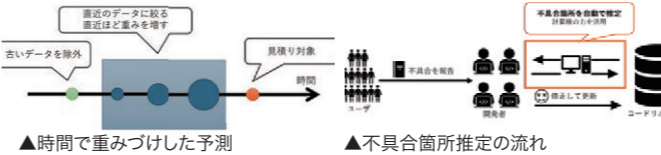
私の研究



天崎 聡介(あまさき そうすけ)
理工学部 ソフトウェア工学科 教授
専攻分野:ソフトウェア工学
研究テーマ:予測技術を用いたソフトウェア開発支援
主な担当科目:プログラミング言語、人工知能とソフトウェアデザイン

開発者がより創造的になれるように

私は、蓄積された過去のデータから客観的な知見を導き出し、開発現場における確かな意思決定を支援する「予測技術」の研究に取り組んでいます。ソフトウェア開発は、予算超過や納期遅延、予期せぬ不具合といったリスクを常にはらむ極めて困難な工程です。例えば、開発に必要な工数や期間を高い精度で予測できれば、不適切な見積りによるプロジェクトの破綻を未然に防ぐことが可能になります。この研究において技術向上の鍵となるのは、ソフトウェア開発特有の性質を考慮することです。例えば、IT業界は技術革新の速度が極めて早く、過去の開発



実績が現在の予測に直結しないケースが少なくありません。そのため、あえて古いデータを除外したり、直近のデータを重視する重み付けを行ったりといった独自の工夫を凝らすことで、予測の信頼性を高めています。また、予測技術の恩恵は計画段階に留まらず、運用・保守の局面でも発揮されます。例えば、利用者から不具合報告を受けた際、膨大なソースコードの中から修正箇所を特定するのは至難の業です。そこで、報告書とプログラムを数値化して類似度を算出し、不具合の混入箇所を予測する技術の研究が進められています。この手法により、特定に要する時間は大幅に短縮されます。予測技術によって、人間がより創造的な作業に集中し、より価値のあるソフトウェアを生み出せる社会の実現を目指しています。

私のクラス



水留 正流(みずとめ まさひろ)
法学部 法律学科 准教授
専攻分野:刑事法
研究テーマ:責任論、精神科医療・福祉と法をめぐる諸問題
主な担当科目:刑法総論A・B、刑事政策

ともに学び、ともに遊ぶ

就職に際して指導教授の先生は私に「学生に遊んでもらいたい。」とアドバイスを下されました。これを意識して、特にゼミでは、大学でなければ得られない体験、つまり、研究や実務の最先端に触れて社会の「いま」を知ることに取り組んできました。ゼミでは最新の判例を取り上げ、いま、この社会で問題になっている刑法の課題を学生と一緒に勉強しています。最新判例ですら先行研究もあまりありません。なぜそれが論点なのか、裁判所による解決は本当にそれだけなのか、私も学生も一生懸命考えます。そうした勉強によって理論

的にものを考える訓練をしてきた成果は、近隣大学の刑法ゼミとの合同討論会「東海学生刑法学会」に生かされます。刑事政策の「いま」を探るのも学生と一緒にです。夏には、私が特に注目する施設等に赴いて、処遇の現場を見学しています。矯正施設に行くことが多いですが、昨年は初めて入管施設を見学しました。ゼミ活動を通じて、ゼミ生同士、さらには他大学の学生やゼミのOB/OGとも交流を持てる環境づくりを意識してきました。いまや学生が関心のあることを自発的に教えてくれるので、それに乗るだけで安定したゼミ運用ができる環境が育ってきました。今後よりいっそう、この緑多いキャンパスで、学生たちとともに学び、ともに遊んでいければと思っています。



▲昨年の東海学生刑法学会



▲ゼミ合宿の様子

「人間の尊厳賞」第5回受賞者決定

授賞理由

松浦氏は、社会活動センター「シナピス」事務局に勤務し、30年以上にわたり、様々な背景をもつ人びとに向き合うという基本軸のもと、幅広い活動を展開してきた。具体的には、日本に保護をを求める難民移住者の相談を受け解決の道を探る活動や啓発活動の実施、交流の場の創出・維持などである。誰もが人権を保障される社会を目指し、国籍や在留資格の有無を問わず一人ひとりに関わり続ける同氏の活動は、「人間の尊厳」が国家や国籍を超えて尊重されるべきものであることを人々に再認識させ、本学の目指す「人間の尊厳のために」という理念の具現化を推進する実績であると評価できる。

松浦 ビスカルド 篤子 氏

プロフィール

カトリック大阪高松大司教区社会活動センター「シナピス」副センター長。南山大学文学部神学科卒業。「国籍を問わず人権が保障される社会」を目指し、難民移住者の人びとを中心に困難を抱え訪ねてくる人々に寄り添いながら、弁護士や支援者と連携して裁判や行政への働きかけを行う。法的支援に加え、衣食住の提供など生活面での支援にも力を注いでいる。

表彰式・記念講演会

開催日: 2026年5月23日
会場: 南山大学 R棟1階 フラッテンホール
講演テーマ: 「難民との出会いによって示された人間の尊厳」
後援: 南山大学同窓会



※講演会の模様は、南山大学公式YouTubeチャンネルにて公開しております。

https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/dignity/prize/

人間の尊厳のために
HOMINIS DIGNITATI

表彰式と記念講演会については次号でご案内します。

キャリア支援課プログラム紹介

キャリア支援課では毎年多彩なプログラムを実施しています。「キャリアサポートプログラム」は、特に低年次生の参加を推奨していますが、すべての学年の方が参加可能です。また、学部3年次生と大学院修士1年次生向けには、「就職支援プログラム」を実施します。学生の皆さんは、積極的に参加してください。

キャリアサポートプログラム

学部・学科別学び方講座(1年次生対象)

4月から5月にかけて、新入生対象の「学び方講座」を実施しました。各学科の教員から大学での授業の進め方や卒業後の進路などの説明を受け、学生は自らの大学生活での具体的な目標や課題設定を行いました。

1年次キャリアガイダンス

5月に1年次生を対象にキャリアガイダンスを実施しました。参加した学生は将来を意識したうえで大学生活への目標設定を行いました。

2年次キャリアガイダンス

4月に2年次生を対象に第1回キャリアガイダンスを実施しました。ガイダンスの中では、将来自分らしく働くために、自分の経験から価値観について考えるワークを行いました。1月に実施する第2回キャリアガイダンスでは、企業選びの軸について考えるワークを行う予定です。

公務員学内合同説明会

4月に全学年を対象に公務員学内合同説明会を行いました。本学の卒業生が多い公務員を中心に8つの機関にお越しいただきました。参加した学生は公務員の仕事ややりがいなどについて真剣に話を聞いていました。

★第2クォーターには、様々な業界の人事担当者による業界理解を深める「テーマ別ワークショップ」など多彩なプログラムを予定しています。

就職支援プログラム(主に学部3年次生・修士1年次生対象)

4月に就職ガイダンスを実施し、学生は就職活動への心構えや就職支援プログラムのスケジュール等を確認しました。今後は講座やワークショップ等、インターンシップや本選考に向けて具体的な準備を進めていきます。キャリア支援課では、事前予約制で個別面談を実施していますので、学生の皆さんはぜひ活用してください。

[7~10月の予定] プログラムおよび11月以降の予定はWebページまたはPORTAに掲載します。

プログラム名	日程	プログラム名	日程
グループ面接ワークショップ①	7月1日(木)	〈文系〉第2回就職ガイダンス	9月16日(木)
就活メーク講座	7月8日(木)	〈理系〉第2回就職・進学ガイダンス	9月16日(木)
ES添削道場	9月30日(木)	就職対策講座1(文理共通) 【自己分析・ESの書き方】	9月30日(木)
就活×留学コラボイベント	10月7日(木)	就職対策講座2(文理共通) 【業界企業研究・志望動機】	10月7日(木)
人事担当から直接聞けるES・面接対策講座	10月28日(木)	就職対策講座3(文理共通) 【筆記試験対策】	10月14日(木)
UIターンガイダンス	10月28日(木)	就職対策講座4(文理共通) 【面接対策・ビジネスマナー】	10月21日(木)

https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/index.html



インターンシップサポート[学内企業説明会(インターンシップ・仕事体験)]

5・6月に、上場企業や人気企業を中心に約50社が本学学生のみを対象に説明会を実施しました。学生は仕事体験やインターンシップに向けて企業研究や仕事研究を行いました。

卒業後の進路が決まった学生の皆さんへお願い

「進路届」の提出および「就職活動体験記」へのご協力をお願いいたします。「進路届」は進路が決まった時点で、全員提出が必要です。また、体験記は後輩の皆さんにとって何物にも代えがたい貴重な資料となりますので、ぜひご協力ください。「進路届」は、キャリア支援課(Q棟2階)窓口もしくはPORTAアンケートにてご回答ください。また「就職活動体験記」作成要領およびフォーマットは下記Webページからダウンロードできます。 https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/students/shinro.html



■ 名誉教授称号授与

次の4名の教授に対しその功績を称え、名誉教授の称号を授与しました。

2026年4月1日付

- 人文学部
KISALA, Robert 名誉教授
青柳 宏 名誉教授
谷口佳津宏 名誉教授
- 経済学部
岸 智子 名誉教授



▲前列左から：青柳宏名誉教授、岸智子名誉教授、谷口佳津宏名誉教授
後列中央：KISALA, Robert名誉教授

■ 寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

東朋テクノロジー株式会社 物質文化研究会 株式会社エヌ・イー・エス 様
代表取締役社長 富田英之 様 代表 黒澤 浩 様 匿名ご希望者2名様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

柴田好範様 野邊 進様 芹沢彰宏様 匿名ご希望者9名様
水谷渺行様 伊藤 諒様 毛利重成様 1団体様
森岡 茂様 張 延鯤様

「南山大学博士後期課程奨学支援募金」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者1名様

「『ほまれはここに我が南山』学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者2名様

■ 退職

2026年3月31日付

- 人文学部
教授 谷口佳津宏
教授 青柳 宏
教授 高橋亜希子
- 外国語学部
准教授 平田 周
- 経済学部
教授 岸 智子
- 経営学部
教授 宮元 忠敏
准教授 松井 宗也
- 国際教養学部
教授 村杉 恵子
准教授 YARDLEY, Gabriel

- 外国語教育センター
語学講師(L.I.) ZONI UPTON, Jessica
語学講師(L.I.) FLORES, Ana Maria
語学講師(L.I.) CAPITIN-PRINCIPE, Abigail
語学講師(L.I.) MAYORAL MUNOZ, Miguel Angel
語学講師(L.I.) TAKEUCHI, Rebecca
語学講師(L.I.) TROY, Henry

- 教職センター
教授 笹尾 幸夫

- 国際センター
特別任用講師 小野詩紀子
特別任用講師 藤掛千絵

- 保健センター
特別任用助教 久米雪絵

2026年5月31日付

- 外国人留学生別科
語学講師(別科L.I.) 小西知代

■ 新任教員紹介

2026年4月1日付

- 人文学部
准教授 安倍里美
准教授 石倉 篤
講師 菅野裕樹
講師 DIETGER, Alfonsus Afri
- 経済学部
教授 湯浅豊生
講師 田中頌宇将
- 経営学部
教授 佐藤公俊
講師 伊川萌黄
- 法学部
准教授 和田 武士
- 総合政策学部
講師 秦 涼太
- 理工学部
准教授 宇田智紀

- 外国語教育センター
語学講師(L.I.) 千葉裕太
語学講師(L.I.) COSENZA, Brianna
語学講師(L.I.) HILL, Richard
語学講師(L.I.) PORRAS, Jose
語学講師(L.I.) SUGIURA, Eleanor
- 教職センター
講師 平見真希人
- 情報センター
准教授 今中厚志
講師 二宮由樹
- 保健センター
特別任用助教 内原香織

■ 本学名誉教授 寺田 邦昭氏のご逝去

本学名誉教授の寺田邦昭氏(86歳)が、2025年12月10日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

一般入試の主な変更点

2月9日～12日の4日間で実施します。これまで学科ごとに試験日を指定していましたが、文系学部は4日間の中で学科と試験日を自由に選択できるようになりました。(理工学部は2月10日のみ試験を実施)

全学統一入試の主な変更点

2月6・7日の2日間で実施します。1日目は、名古屋(南山大学)試験場のみ、2日目は、全国14試験場で受験可能です。試験科目等の詳細は、南山大学Webページ(受験生の皆様)や入試ガイドをご確認ください。



YouTube も公開中です。



✓ 試験日・方式の
選択肢が拡大!

✓ 試験日選択が
柔軟に!

学生応援募金

2025年4月より返礼品付き寄附「ほまれはここに我が南山」学生応援募金を開始しました。このご寄附は、部活動に打ち込む学生や国際性を磨き世界に羽ばたく学生など、本学で学ぶ学生が充実した大学生活を送るための資金として活用させていただきます。ご寄附いただいた方には本学卒業生の企業から提供された商品をはじめ、多彩な返礼品をご用意しております。本学の学生への温かいご支援をよろしくお願いいたします。



<https://homare.nanzan-u.ac.jp/>

